

第 15 回北京モーターショー2018

サマリー



中国で開催される北京モーターショー2018 で、BMW は特に最新の新規モデル情報、新しい方向性を示すコンセプト・カー、革新的な技術開発をアピールする。2018 年の 4 月 25 日から 5 月 4 日まで開催される国際モーターショーでの発表に向けて BMW グループが選択した新規事項は、電動化戦略の一貫した継承、ラグジュアリー・セグメントにおける目をみはるモデル攻勢、そして BMW X モデルの持続的な成功を明瞭に伝えるものだ。さらに BMW はこの舞台で数々のワールド・プレミアとアジア・プレミアを予定しており、世界最大の自動車市場として、またプレミアム・ブランドのモデル数の増加に対応する生産拠点として中国の重要性を強調している。

中国の北京モーターショー2018 での展示・発表は、BMW グループが主導的に推進する持続可能な、デジタル化されたモビリティへの変革に向けて、広範囲に及ぶ技術力をアピールする機会でもある。BMW グループは企業戦略「NUMBER ONE > NEXT」において技術的な変革の中心に据えられる未来の分野を定義し、これを基礎として自動走行、コネクティビティ、電動化、サービス(ACES)の領域で徹底して革新を推し進めている。そしてそこから得られた技術進歩と革新的な車両コンセプトにより、BMW はプレミアム・カーの提供者としての地歩を固め、心躍るデザイン、ブランド特有の駆け抜ける歓び、未来志向の技術、妥協を知らないプレミアムな特性から情熱的な効果を生み出す。

瀋陽からのもうひとつの SAV: ニューBMW X3、メイド・イン・チャイナ

生産拠点の瀋陽は、中国市場用に製造される BMW モデルの誕生の地として今後重要な役割を果たしていく。北京モーターショー2018 では、合併パートナーの BMW Brilliance Automotive が将来ダートン工場で生産を行うニューBMW X3 が発表される。この第3世代のスポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)はさらに進化したスポーツ性能、高級志向の装備、最先端のネットワーク技術を誇る。

スポーティな独自の存在: ニューBMW X4

北京モーターショー2018 はニューBMW X4 のアジア・プレミアの舞台となる。プレミアム・ミディアム・クラスにおけるこの第2世代のスポーツ・アクティビティ・クーペは、強く前面に押し出されたデザインの独創性が魅力的で、スポーツ性能とプレミアムな雰囲気の高両面でも優れた進化を遂げている。最先端のドライバー・アシスト・システムと BMW コネクテッド・ドライブの最新の機能は高次元のドライビング プレジャーを提供する。

コンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペ: ニューBMW X2

成功を収めているスポーツ・アクティビティ・クーペの車両コンセプトはプレミアム・コンパクト・セグメントにも及んでいる。北京モーターショー2018 ではニューBMW X2 がアジア・プレミアを飾る。このモデルでは、BMW X モデルのたくましい多面性とクーペのスポーティなエレガンスが組み合わさって特に個性的な外観を生み出している。このデザインと同様に、ニューBMW X2 が提供する駆け抜ける歓びもこのセグメントでは他に類を見ない。

外側は堂々たる存在感、内側は広々とした印象:BMW Concept X7 iPerformance

北京モーターショー2018では、ラグジュアリー・クラスの革新的な車両コンセプトにより、成功を収めたBMW Xモデル・ファミリーのさらに成長した姿が見られる。アジアで初めて披露されるBMW Concept X7 iPerformanceでは、エクステリアの迫力あるサイズと魅力的な外観にインテリアの広々としたスペースと高級感あふれるラグジュアリーな雰囲気が組み合わされている。パワフルで効率的なプラグイン・ハイブリッド駆動とインテリジェントにネットワーク化されたインフォテインメント・システムは、BMW Concept X7 iPerformanceが示す技術的な進化を強調するものだ。

魅力あふれるラグジュアリー・スポーツ・カー:BMW Concept 8 Series

ラグジュアリー・セグメントにおけるBMWグループの活動強化は、アジアで初披露となるその他のコンセプト・モデルの基礎を固める。BMW Concept 8 Seriesはダイナミクス、ラグジュアリー、独自性を、このブランドの洗練されたクーペを特徴づけている一点への集中において具体化している。試作モデルの精緻で魅力的なデザインは新しいスタイリングを表しており、2018年中に量産が開始される未来のBMW 8シリーズクーペの並外れた運動性能を明確に伝えるものだ。

e モビリティの新しい基準:BMW i Vision Dynamics

BMW i Vision Dynamicsのアジア・プレミアは、BMWグループが構築するe モビリティの近い将来の姿を示すものとなる。スポーティとエレガンスが融合した4ドアのグランクーペのプロポーション、BMW i 車両用に開発されたデザイン手法の印象的な特徴、妥協のないプレミアムなクオリティ、最新鋭のBMW eDrive テクノロジーが融合することで魅力あふれる持続可能なモビリティが生み出され、それがもうまもなくBMW i4として実現される。このモデルの首尾一貫した開発による駆動技術は、発進から100km/hまでを4.0秒で加速でき、電気駆動での航続距離は約600kmに達する。

かつてないほど快適な充電:BMW ワイヤレス充電

電気駆動モデルの高電圧バッテリーの充電用として、BMWはすでに現在、革新的で快適なソリューションを提供している。BMW ワイヤレス充電は、商用電源から車両バッテリーへのワイヤレスでのエネルギー伝達を可能にする。このシステムは、ガレージまたは屋外の地面に設置されるインダクティブ充電ステーション(GroundPad)と、車両フロア下に取り付けられたコンポーネント(CarPad)から成る。無接触式のエネルギー伝達は電磁界を介して行われ、車両をGroundPadの上に駐車することで充電が開始される。BMWは自動車メーカーとして世界で初めて高電圧バッテリーのインダクティブ充電用システムを提供する。BMW ワイヤレス充電は、程なくしてBMW 530e iPerformance(燃費(複合モード):2.1~1.9 l/100 km、電力消費量(複合モード):14.1~13.1 kWh/100 km、CO₂ 排出量(複合モード):49~44 g/km)および中国で生産・提供されるBMW 530Le iPerformance用のオプションとして提供される。

運転の自動化へのためめ進歩

自動走行または自律走行の分野でもBMWグループは開発力を徹底的に強化している。その際グループは長年の経験と確固たるノウハウ、そして強力なパートナーの技術能力を頼りにすることができる。最近、ミュンヘン近郊のウンターシュライスハイムにある新しいキャンパスに開発センターが設立され、そこでは約1,800名の従業員がソフトウェアから走行テストに及ぶ領域でさらなる進歩に向けて努力を重ねている。そこではとりわけ、高度に自動化された走行や完全自動運転を目標として80台のテスト車両の製作と試験が日々行われている。BMW 7シリーズをベースにしたプロトタイプは、BMW iNEXTのスタート時期を明確

にする。BMW グループは高度に自動化された走行が可能な最初の量産モデルを 2021 年に発表し、完全自動運転や自律走行についても技術的に実現可能とすることを計画している。

燃費値と排出ガス値

BMW 530e iPerformance(燃費(複合モード): 2.1~1.9 l/100 km、電力消費量(複合モード): 14.1~13.1 kWh/100 km、CO₂ 排出量(複合モード): 49~44 g/km)